

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月25日		記入者		内線	5219
部 名	生涯学習部	課 名	生涯学習課		課長名	佐藤 清
事務事業名	公民館運営協議会補助金					
予算上の事務事業名	公民館運営協議会等経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					事業開始年度
施 策 名	第2施策 生涯学習活動の支援					平成15年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	公民館運営協議会等活動費補助金交付要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付) ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
住民主体の公民館運営の中核をなす公民館運営協議会や公民館専門部の円滑な運営を図るとともに、協議会委員等の資質の向上を図る。					各公民館運営協議会及び専門部	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
公民館運営協議会等活動費補助金(@250千円×23館 5,750千円)						
6 関連・類似事業や他市の状況						
他自治体においては、公民館運営を地域住民が企画から実施まで主体的に行う組織を持つところはほとんどなく、先進的な事業である。						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	0	5,301	5,750	5,750	5,750	
一般財源	0	5,301	5,750	5,750	5,750	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	81	81	81	81	
事業コスト合計(a)	0	5,382	5,831	5,831	5,831	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	公民館運営協議会の開催			対象名称(単位)	延べ出席者数(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0	5,301	5,750	5,750	5,750	
対象数	0	1,805	1,900	2,221	2,221	
単位あたり経費(円)		2,937	3,026	2,589	2,589	
前年度比			1.03	0.86	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	運営協議会出席率		指標式と指標の説明	延べ出席者数 / (定数 × 開催回数) × 公民館数 × 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	82.0	82.0		
目標	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度		0.82	0.82		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	自主事業率		指標式と指標の説明	実行委員会主催事業等数 / 全体事業数 × 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	40.0	40.0		
目標	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0
目標達成度		80.0	80.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		平成15年度からの新規事業であり、公民館職員体制の変更とともに、住民主体の公民館運営の柱としてその考え方が徐々に浸透しつつある。住民主体の公民館運営を推進するためには、運営協議会の存在は必要不可欠であり、今後一層の強化を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
平成16年度に策定された、公民館振興計画の実効性を確保するため、運営協議会及び専門部会と事務局の役割分担について地域住民に充分理解してもらう必要がある。			現状では、公民館によって住民主体の公民館運営に対しての温度差があるため、振興計画等のPRを通してその差を少なくすることが必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		市民と行政との協働により、事業効果を高める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			